

第10回春日市議会報告会 意見交換まとめ

市民厚生委員会

【高齢者がいきがいをもてる福祉のまち】

●言いたいこと

●聞きたいこと（回答したもの）

Q：高齢者に対する弁当など宅配事業の計画はないのか。

A：社会福祉協議会において、お助けサービスを実施しており、有料ではあるが弁当宅配やゴミ出し、お金の管理など、生活上の様々な手助けを行っている。

A：買い物支援は実施していない。大切な視点だと思う。

Q：第5次春日市総合計画のうち、高齢者福祉計画（30～38ページ）の進捗チェック、課題提示はしているか。（市民に見えにくい。議会はおざなりにしているのではないか。福祉のまち春日市のランドデザインがわかりにくい。）

A：委員会において、包括的なチェックはしていない。執行部から上がってきた都度、個々にチェックしている。

A：総合計画、基本計画、実施計画があるが、ある施策が何に基づいて実施されているかという検証は行っていない。今後は、ご指摘のとおり、その視点に立ってチェックしていくべきである。

Q：元気な高齢者が気軽に参加できるようなボランティア活動はどんなものがあるか。

A：具体的な内容は追って回答する。

Q：今年度における高齢者福祉に係る財政と予算の状況を教えてほしい。前年度に比べて減っているようだが。

A：一般会計予算336億円のうち、高齢者福祉関係の予算がいくらか、今、わからない。民生費が減額になっているのは、生活保護受給者が減少したからだと思う。介護保険会計の予算は、毎年60億円であるが、その他については、資料を持ち合わせていない。

Q：介護ポイント制度の取組状況を教えてほしい。

A：ボランティアポイント制度は実施されており、参加者に還元されている。

Q：今年、市民厚生委員会で学童保育を視察したと聞いたが、その結果をどのように生かしたのか。

A：委員会においては、まだ討議していない。

Q：ボランティアポイント制度自体を知らない。

A：市は自助共助公助を基本にしている。共助の部分でみんなで助け合うきっかけづくりとして制度を取り入れた。ポイント管理は自治会、貯まったポイントはいったん市が引き取ってスポーツセンターの利用券に引換え、健康づくりに使っていただきたい。利用者が少ないと見直しを考える。

Q：制度を知らないからポイントを貯めることもないと質問した。何のボランティア活動をするのか。

A：市が広めなければならない。HPや回覧板でやっているが制度を作った時だけ広報しているのか、こういうところが問題になっているので別の方法で議会から市に要請していく。

Q：ボランティアポイント制度を広めるためには、みなさんはどう考えますか？

A：無駄である、もっと別の形でやってほしい。制度を設けた目的があるはずだが、制度によってボランティアに興味をもってもらうことが目的ではないか。

Q：介護保険事業の計画が柱にある。制度は永年継続される方向にある？

A：介護保険事業の増え続ける給付費をどこかで抑える必要がある中、行政だけで行うにも限りがある。そこで地域の皆さんにも何らかの形で介護予防に協力していただき、またそれによってご自身も元気でいて欲しいとの視点から制度を導入した。

Q：高齢者と子ども達の交流の場が必要ではないですか。大野城市では老人会の方々が昔遊びやグランドゴルフなどを子どもたちに教えてくれる。高齢者も楽しみにしているし、子供達も喜んでいる。そんな機会が公民館や学童保育などの場であればと考えるが。

国も地域と連携した学童保育等を求めているので学童保育に地域（高齢者）の活躍の機会を取り入れてはどうか。

A：現在、春日市の学童でも結構やっていると思う。私（委員長）はそのようなイベントは必要と考えるので新指定管理者に提言して委員会として進めていきたい。健康寿命を延ばしていくことも大事。

Q：健康寿命だけを延ばしても生きがい（学童保育の場）がなければ意味がない。

A：生きがいを見つけて健康な老後を送ってください。

Q：子ども食堂や学童保育における高齢者の活躍の場を設けるべきと考える。

A：学童などそのような場を作ることは大切だと思うので、委員会で取り組んでいき新指定管理者に訴えかけたいし、注力してやっていきたい。

●聞きたいこと（事後回答のもの）

Q：車に乗れなくなったとき、買い物が不便になり（足が悪くて）困っているとよく聞きます。配達サービスや「やよい号」のイオンまでの延伸など、何かよい方法はないですか。

Q：高齢者の地域行事やボランティア活動への参加が少なくなった。もっと積極的に参加し、高齢者が生きがいをもって地域に貢献するにはどうしたらよいか。

Q：一人暮らしの高齢者の状況を教えてほしい。

Q：高齢者への運動推進の取組を教えてほしい。ただ単に年齢でクラス分けしていいのか疑問である。

Q：限定されないで生活の中で使いたい、もっと範囲を拡大して欲しい。ポイントカードを地域で配布したが喜ばれない。

Q：高齢者のなかでも特に男性は声掛けをしても地域に出て来られない。孤立化に対してどう考えているのか。

Q：世間から離れて暮らしている一人暮らし高齢者（40代50代もいる）が心配だが。地域とかかわりを持つようにすべきと考える。状況把握は、居場所づくりは？まだ自分で出てこれる人はよいが、出て来れない人をどうするのか？

Q：新指定管理者は他市で、忘れものをすると外遊び禁止、百人一首をしないと外遊び禁止のルールを発達障がいの子どもを含めて適用している。子どもが納得できるルールで運営して欲しい。